

科目名	現代の国語		1 学年・必修	使用教科書		
			第一学級社 高等学校 標準現代の国語	『新版完全証録 頻出現代文重要語700 三訂版』『読んで見えて覚える 重要古文単語315 三訂版』『基礎から解釈へ 新し書店文芸 四訂新版』『基礎から解釈へ 新し書店文芸 漢文訳 四訂新版』『基礎から解釈へ 漢文必携 四訂版』『基礎から解釈へ 漢文必携 四訂版チェックノート基本編』		
			単位数：2 単位	使用副教材		
学習目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>					
学習方法	<p>●授業ではノートを使用します。各自で用意して下さい。●授業で取り扱う「課題」には、個人でもグループでも、積極的に参加し、最後までできちやり抜いて下さい。●各者査では平均点の半分未満（平均点60点の場合、29点以下）の人を対象に、「追加課題」を課することがあります。●教科書とノートは毎回必ず持参して下さい。忘れ物をしてしまったときは、必ず朝のうちに職員室に来て申し出て下さい。●授業中の私語は周囲に迷惑をかける行為です、慎んで下さい。●学習の様子を見て、任意参加の補習授業を実施することがあります。もし、事前に希望がある場合は遠慮せずに申し出て下さい。●授業についていけず不安になった時は、遠慮せずに話して下さい。手立てを一緒に考えましょう。●授業に関する質問はいつでも受け付けていますので、遠慮せずに聞いて下さい。</p>					
学習評価	評価の観点	評価の観点の項目				
	I	知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関して身につける。			
	II	思考・判断・表現	話すこと・聞くこと、書くこと、読むことに関して身につける。			
	III	主体的に学習に取り組む態度	I・IIを身につけるための取り組み状況を評価する。			
他教科との関連性	該当する単元(教科)	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例(連携授業を行う場合はその内容)			
	話して伝える「スピーチで自分を伝える」	英語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日本語でスピーチ原稿を書き、スピーチをする。 日本語のスピーチ原稿を英語に直し、英語でスピーチをする。 			
学期	月	単元名(教科)	定時授業	学習内容	評価方法と学習のポイント	Okuhenky 5.0
前期	4	世界を広げる「なぜ本を読むのか」 又吉 直樹	6	筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	学びに向かう姿勢
	5	言葉が開く世界「言葉遣いとアイデンティティ」 中村 桃子	6	筆者の考える、人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	言語力
	6	人間と文化「水の東西」 山崎 正和	6	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	分析・判断力
	7	話して伝える「スピーチで自分を伝える」	4	話し言葉と書き言葉の特徴、相手・目的・場面に応じた言葉遣い、伝わりやすい表現方法を理解する。	単元の学習内容を理解した上で、クラスメートの前で伝わりやすく表現できたかで評価します。	コミュニケーション能力
	8	書いて伝える「身近な製品の取扱説明書を作成する」	3	情報を的確に説明し相手にわかりやすく説明する方法を理解し、わかりやすい説明を実践できるようにする。	実際に製品の取り扱い説明書を作成することで、わかりやすい説明になっているかで評価する。	コミュニケーション能力
	9	生活の中の表現「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	8	改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。	読み比べる中で、必要な情報を適切に取り扱い改正前後での違いをわかりやすくまとめることができるかどうかで評価します。	情報活用能力
	10	社会と人間「『弱いロボット』の誕生」 岡田美智男	5	「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	コミュニケーション能力
	11	現代と社会「イースター島にはなぜ森がないのか」 鷲谷 いづみ	7	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	課題解決能力
	12	言葉が開く世界「言語としてのピクトグラム」 本田 弘之	6	ピクトグラムを持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	ひらめき力
	1	話して伝える「待遇表現」	4	敬語表現を意識した言葉遣い、敬語表現が選択される視点を理解し、相手や場に応じた表現が選択できるようにする。	敬語表現と敬語表現が選択される視点について理解し、その上で場に応じた敬語表現ができるかどうかで評価する。	コミュニケーション能力
2	社会と人間「人はなぜ仕事をするのか」 内田 樹	6	本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。	文章を読み込み筆者の主張を理解していく中で、正確な読みができるようになるか、また言葉の特徴や使い方を理解し情報の扱い方を身につけているか、そして身につけた事を他者に話したり書いたりすることで伝えることができるかで評価します。	進む力	
3	話して伝える「論理的な表現」	4	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解し、説得力を意識した表現の仕方について理解する。	論理的な表現とはどのようなものかを理解し、その上で論理的な話し方ができるかどうかで評価します。	思考・判断・表現力	